



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

**きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:00  
4月 4日 紀の国和歌山総文2021  
特別支援学校部門プレ大会  
4月 11日 知事と語る  
4月 18日 知事と語る  
4月 25日 知事と語る

**県民チャンネル**

月・火・木・金・土曜 21:55

**マンスリー県政 ニュースワイド**

毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

**県庁だより** 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

**ラジオでお届け!県政最前線** 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く  
**紀の国わかやま文化祭2021**

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会  
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

**おもてなしパネルが完成♪**

紀の国わかやま文化祭2021にお越しいただく皆さんをおもてなしするために、「障害者週間広報ネットワーク実行委員会」のご協力のもと、「おもてなし看板」を作成しました。素材は全てお花紙を使用しており、小さく丸めて丁寧に貼り付けられています♪



3月23日(火)より、和歌山市民図書館に展示しています。パネルサイズは180cm×180cmの特大サイズとなっております。ぜひお越しの際はご覧くださいね。

問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局  
☎073-441-2571 FAX073-423-7120

紀の国文化祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



**コロナ・ワクチンを打ちましょう**

コロナとの闘いも少し明るさが見えてきています。それはワクチンの登場です。医療関係者への接種に続き、4月から65歳以上の高齢者への接種の開始が予定されています。その後その他の人へと続きます。

そのお世話役は医療関係者は県が、高齢者は市町村が務めますが、県は市町村当局が円滑に接種を行えるように、昨年末からずっと支援を進めてきました。

このワクチンは、コロナの発症をかなり抑えられるようですし、そうすると高齢者の方に心配された重症化リスクも全体として減らすことが出来ると思います。多くの人がワクチンを打ち終わる頃には、感染者も減って、一年以上もほとんど休日なしで、県民の命を守ってきた保健医療チームや医療関係者もひと息つけると思いますし、高齢者も含め、行動の制約がより不必要になって、健康で活動的で楽しみも多い生活が戻ってくることも予想されます。

しかし、こういうワクチンもなにぶん未経験のものだから、怖いし、痛いらしいし、副反応もあるかもしれないとテレビで報道されているから、受けたくないという人もいます。テレビなどのメディアは、当たり前現象は報じないで、稀な例でも副反応が出たという不都合なことは報じるのが常です。打つ打たないは自由だから自分は絶対接種を受けないと言っている著名人が出てきたりして、そういうものに我々は影響を受けやすいものです。

でも、よく考えたら、ワクチンを打つことは個人のためにも社会のためにもプラスです。稀に起きる副反応などのリスクよりも、コロナにかかって苦しんだり、死ぬリスクの方がはるかに高いと思われれます。ワクチンを打たずに感染する人が増えたら、感染が収まらず、生活や経済に打撃を与え続けることとなります。県も市町村も全力で安全な接種に努めます。私も打ちます。皆さんもワクチンを打ちましょう。

最近、国によるワクチンの確保が大丈夫かという報道もありますが、全力で確保してもらいたいものです。

和歌山県知事 **仁坂 吉伸**



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 **80**

・古紙パルプ配合率  
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用  
・塗工量

70%以上  
30g/ml以下

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。